

日本糖尿病理学療法学会 第3回症例報告学術集会

開催趣意

我々理学療法士は、臨床において糖尿病を合併した患者を担当する機会が多くなっています。本学術集会では、糖尿病合併の対象者に焦点を当て糖尿病のチーム医療において、理学療法士が運動の専門家としての「糖尿病理学療法」の可能性を探ることを主なテーマとします。

テーマは「この症例 あなたならどうする？—多職種寄れば文殊の知恵—」とし、第3回となる本学術集会では、第1回、2回をさらに進化させるべく「より深い症例報告と議論」を目指したプログラムを企画します。また、「文殊の知恵」と表現したように議論の深化のためには、多職種での検討が必要不可欠です。これらも議論に反映できるようアドバイザーとして看護師、薬剤師、管理栄養士の各職種の専門家を招聘し、1症例を十分に議論できるよう各2時間のグループワークを行います。糖尿病理学療法は機能回復を主眼に置いた運動療法だけでなく他職種が理学療法士に求めていること、理学療法士が糖尿病のチーム医療において実際に行っていることなどを議論し糖尿病理学療法をさらに深める企画とします。

日本糖尿病理学療法学会 第3回症例報告学術集会
学術集会長 石黒友康

日本糖尿病理学療法学会 第3回症例報告学術集会
学術集会概要

1. 会 期 2017年3月18日(日曜日)
2. 会 場 幕張国際研修センター
3. 参加費：
会 員 : (事前申込) 3,000円 / (当日申込) 4,000円
非会員(他職種) : (事前申込) 3,000円 / (当日申込) 3,000円
非会員(理学療法士) : (当日申込) 10,000円 * 事前申込は御座いません。
4. 参加申込
会 員 : 事前申込は、日本理学療法士協会マイページよりお願い致します。
他職種 : 事前申込は、①氏名、②職種、③所属(施設名・部署名)、④日本糖尿病療養指導士取得の有無(取得済みの方は認定番号)、⑤電話番号、⑥E-mailアドレスをご記入の上、下記E-mailアドレスまでお送りください。
E-mail:dmpt0318@gmail.com
本学会は会場の関係により参加者は最大216名までとなっております。
最大人数に達した場合、当日お越し頂いても参加はできませんので、事前申し込みをお願い致します。
認定単位 日本糖尿病療養指導士更新単位 申請予定 2群
5. 学術集会長 石黒 友康 (日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、東都医療大学)
6. 準備委員長 笠原 啓介 (君津中央病院)
7. 参加者 216人
8. 事務局 君津中央病院
笠原 啓介
TEL 0438-36-1071
E-mail:dmpt0318@gmail.com
9. 学術集会企画
プログラム
<セッション1(グループワーク)>
司会: 森本信三(白浜はまゆう病院)
笠原啓介(君津中央病院)
演題: 「肥満糖尿病患者の運動療法について」
演者: 井上久登(君津中央病院)
内容: 肥満を合併した糖尿病患者の運動療法の他、栄養・薬物療法などの療法指導、また動機付け、行動変容も含め、多職種での関わり方をディスカッションする。

<教育講演>

講師：浅田史成（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、大阪労災病院 治療就労両立支援センター）

万行里佳（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、目白大学）

演題：「患者の動機付けを促す行動変容アプローチー理論と実践ー」

座長：石黒友康（学術集会長）

内容：動機付けを促す行動変容についての科学的根拠となる先行研究、また実際に関わるときの注意点、ポイントなどの講演とする

<学術集会長講演>

テーマ 運動療法研究の変遷

集会長 石黒友康（学術集会長）

司会 野村卓生（日本糖尿病理学療法学会 代表運営幹事、関西福祉科学大学）

内容 糖尿病患者に対する運動療法のエビデンスまた、今後の運動療法の可能性について先行研究も含めた講演とする

<セッション2（グループワーク）>

司会 河江敏広（日本糖尿病理学療法学会 運営幹事、広島大学病院）

鈴木康裕（筑波大学附属病院）

演題「冠動脈バイパス術後に血糖コントロールが不良であった2型糖尿病患者」

演者 加藤秀典（筑波大学附属病院）

内容 心臓リスクを踏まえた上で、その再発予防に向けた運動、栄養、薬物療法の関わり方について多職種でディスカッションする

10. 日程表

8:30～	受付開始
9:00～9:10	開会挨拶
9:10～11:10	セッション1
11:10～11:20	休憩
11:20～12:20	教育講演
12:20～13:20	昼食休憩
13:20～14:20	集会長講演
14:20～14:30	休憩
14:30～16:30	セッション2
16:30～16:40	次期集会長挨拶
	閉会挨拶